

# 公益社団法人日本プロゴルフ協会 平成28年度 事業報告書

自：平成28年1月1日～至：平成28年12月31日

## 【公益目的事業】

公1「ゴルフの正しい普及ならびにゴルフ分野のスポーツ振興及びゴルフを通じた  
社会貢献を行う事業」

### 1. ティーチングプロ資格認定事業

ティーチングプロ資格の認定のため、A級・B級の2階級で講習会を実施。B級講習会は、新規にティーチングプロ資格の取得を希望する者のためのB級（新規）講習会に加え、既存のC級会員に対するB級（移行）講習会の2種類を実施した。

A級講習会は102名（PGA92名、LPGA10名）が受講。PGAの受講者で講習会を修了した91名（内トーナメントプレーヤー3名）に対し、平成29年1月1日付けでティーチングプロA級資格を認定する。

また、既存のA級会員（2012年以前のA級取得者）を対象としたジュニア指導員セミナーを実施し16名（PGA13名、LPGA3名）が受講。PGAの受講者で講習会を修了した13名に対し、平成29年1月1日付けでジュニア指導員資格を認定する。

B級（移行）講習会は5名が受講。講習会を修了した5名（内トーナメントプレーヤー2名）に対し、平成29年1月1日付けでティーチングプロB級資格を認定する。

B級（新規）講習会は116名（PGA105名、LPGA11名）が受講。PGAの受講者でレポート・検定に合格し講習会を修了した82名に対し、入会セミナーを実施。入会セミナーの受講を経て、平成29年1月1日付けでティーチングプロB級資格を認定、入会登録となる。

平成29年度B級（新規）講習会受講者選定のための審査は147名（プレ実技から29名、実技審査から118名）が受験。選定審査（書類審査・プレ実技審査・実技審査・面接審査及び筆記試験）を通過した69名が合格。平成29年度B級（新規）講習会の受講資格を認めた。

### 2. トーナメントプレーヤー資格認定事業

トーナメントプレーヤー資格の認定のため、資格認定プロテストを実施。プレ予選2会場、1次プロテスト2会場、2次プロテスト4会場、最終プロテスト1会場の4段階で実施した。その結果、55名が合格、入会セミナーの受講を経て、平成28年12月16日付けでトーナメントプレーヤー資格を認定、入会登録となった。

また、一般社団法人日本ゴルフツアー機構が管轄するジャパングolfツアー賞金ランキングシード権取得者、また顕著な実績を持つ選手（計2名）については、入会セミナーの受講により、平成28年12月16日付けでトーナメントプレーヤー資格を認定、入会登録となった。

### 3. プロゴルファーの資質向上事業

#### (1) ティーチングプロ研修会

会員を対象として技術研鑽と資質向上を目的に、年間を通じて全国13会場にて研修会を実施した。

#### (2) ティーチングプロアワード

優れた指導理論やレッスンの新たなアイデア、顕著な活動実績を持つプロゴルファーを表彰するPGAティーチングプロアワード（以下：TCPアワード）は、2015年12月に実施した1次選考会（19名参加）を通過した3名による最終選考を2016年2月

に開催したゴルフフェアにて実施し、松本哲也会員が最優秀賞を受賞した。また、2016年11月に実施した2017年度TCPアワードの1次選考会には17名が参加して、3名が通過し、2017年3月に開催されるゴルフフェアにおいて最終審査を実施する。

(3)PGAマネジメントプログラム

会員の資質向上を目的としたPGAマネジメントプログラム「プロスポーツティーチングセミナー」を公益社団法人日本プロスキー教師協会及び公益社団法人日本プロテニス協会と合同で実施し5名が参加した。

(4)ゴルフ場支配人養成セミナー

会員のスキルアップを目的とし、特にゴルフビジネススキルの向上を目指した「ゴルフ場支配人養成セミナー」のオープンセミナー（説明会）を実施し17名が参加した。今後、オープンセミナー参加者からの意見をふまえ、セミナー内容を再考し受講者募集を行っていく。

4. ゴルフの正しい普及のためのジュニア育成事業

(1)ジュニアゴルファー育成プロジェクト

地方自治体とタイアップし、自治体等が募集した主にゴルフ未経験の小学生に対して、ゴルフを経験させていくジュニアゴルファー育成プロジェクトは、ジュニアゴルフ教室として東条の森カントリークラブと太平洋クラブ益子PGAコースで実施し、179名のジュニアが参加した。

(2)キッズゴルフ体験会

当法人が主催または公認する競技において、開催コースの近隣の小学校を通じて募集した主にゴルフ未経験のジュニアに対してゴルフを体験させるキッズゴルフ体験会は、シニアツアー5試合でイベントを実施し、延べ122名のジュニアが参加した。

(3)春休み親と子&シニアゴルフレッスン会（2016年3月実施事業）

春休み中の一定期間に、全国各地においてゴルフ練習場を利用して親子または祖父（祖母）と孫のペアでゴルフレッスン会を実施する春休み親と子&シニアゴルフレッスン会は、全国35会場で実施し、延べ888名が参加した。

(4)ジュニア育成地区活動への助成

地域におけるゴルフ普及と振興を目的に、地区ジュニア委員が企画、実施するジュニア育成活動に対して運営費を助成するジュニア育成地区活動においては、全国で37イベントが実施され、延べ2千580名が参加した。尚、助成金の総額は265万6千556円。

(5)ジュニアゴルフスクールへのプロゴルファー派遣

公益財団法人日本ゴルフ協会ならびに関連団体が全国各地で実施するジュニアスクールに対して、当法人所属のプロゴルファーを128会場、述べ502名派遣した。

(6)日本ジュニアゴルファー育成協議会への支援

子供たちへのゴルフの普及、啓発事業、指導者養成事業などを行い、社会活動の推進及びスポーツの振興に寄与することを目的として、1999年にゴルフ関連10団体（公益財団法人日本ゴルフ協会、公益社団法人日本プロゴルフ協会、一般社団法人日本女子プロ

ゴルフ協会、一般社団法人日本ゴルフツアー機構、一般社団法人日本ゴルフトーナメント振興協会、公益社団法人日本パブリックゴルフ協会、一般社団法人日本ゴルフ用品協会、公益社団法人全日本ゴルフ練習場連盟、一般社団法人日本ゴルフ場経営者協会、全国高等学校ゴルフ連盟)によって創設された、NPO法人日本ジュニアゴルファー育成協議会(JGCG)の活動に対して以下の支援を行った。

- ① JGCGが主催または協力するゴルフ体験会、ゴルフレッスン会等のジュニアイベントに対しPGA会員並びに事務職員を派遣した。
- ② 助成金として150万円を支出。

## 5. ゴルフ分野のスポーツ振興のための主催競技開催事業

### (1) 日本プロゴルフ選手権大会及び日本プロゴルフ選手権大会予選会

第84回日本プロゴルフ選手権大会 日清カップヌードル杯

開催日：平成28年7月7日(木)～10(日)

場 所：北海道クラシックゴルフクラブ(北海道)

優勝者：谷原秀人

備 考：併せて予選会を全国7会場(1次予選6会場、最終予選1会場)にて実施

### (2) 第55回日本プロゴルフシニア選手権大会 住友商事・サミットカップ

開催日：平成28年10月6日(木)～9日(日)

場 所：サミットゴルフクラブ(茨城県)

優勝者：プラヤド・マークセン

### (3) 日本プロゴルフグランド・ゴールドシニア選手権大会 ゴルフパートナーカップ

開催日：平成28年6月3日(金)～4(土)

場 所：よみうりカントリークラブ(兵庫県)

優勝者：ゴールドの部 中島弘二 グランドの部 三好隆

備 考：予選会として関東・関西グランド・ゴールドシニア選手権大会を以下の通り実施。

関東プロゴルフグランドシニア選手権大会

開催日：平成28年4月27日(水)～28日(木)

場 所：箱根湖畔ゴルフコース(神奈川県)

優勝者：福沢孝秋

関東プロゴルフゴールドシニア選手権大会

開催日：平成28年5月17日(火)～18日(水)

場 所：成田ゴルフ倶楽部(千葉県)

優勝者：青木民也

関西プロゴルフグランド・ゴールドシニア選手権大会

開催日：平成28年4月26日(火)～27日(水)

場 所：ローモンドカントリー倶楽部(三重県)

優勝者：ゴールドの部 谷中宏至 グランドの部 三好隆

### (4) 第18回日本プロゴルフ新人選手権大会 房総カントリーカップ

開催日：平成28年12月21日(水)～22日(木)

場 所：房総カントリークラブ房総ゴルフ場東コース（千葉県）  
優勝者：黒木紀至

(5) P G Aティーチングプロ選手権大会及びティーチングプロ選手権予選会

第5回P G Aティーチングプロシニア選手権大会

開催日：平成28年12月21日（水）～22日（木）

場 所：房総カントリークラブ房総ゴルフ場東コース（千葉県）

優勝者：伊藤正己

第12回P G Aティーチングプロシニア選手権大会

開催日：平成28年10月18日（火）～19日（水）

場 所：伊勢カントリークラブ（三重県）

優勝者：近藤年弘

第18回P G Aティーチングプロ選手権大会

開催日：平成28年11月1日（火）～2日（水）

場 所：静ヒルズカントリークラブ（茨城県）

優勝者：麻田隆司

備 考：併せて予選会を3会場で実施。

(6) P G Aジュニアゴルフ選手権

開催日：平成28年8月22（月）～23日（火）

場 所：太平洋クラブ益子P G Aコース（栃木県）

優勝者：関西チーム

備 考：全国8地区から選抜された中学、高校生の男女8名、計16名でチームを組み、男女各8人中上位6人、計12人の合計ストロークで競う、男女合計の地区対抗団体戦。尚、男女各個人戦も実施した。

6. ゴルフを通じた社会貢献及びゴルフ普及事業

(1) P G Aフィランソピー地区事業

地域のゴルフ普及、振興または社会貢献（チャリティ）を目的としたゴルフイベントを全国18会場で実施し、延べ1千44名が参加した。各地区で実施したイベントの内容により助成金額を決定し、総額525万円の助成を行った。尚、本事業によるチャリティ金の総額は265万8千470円となった。

(2) 障害者ゴルフ大会

本大会は障害者の方にゴルフを楽しんでもらう場を提供すると共に、障害者ゴルファーの技術向上を目指し、身体障害者を対象としたゴルフ競技会を10月4日（火）に若洲ゴルフリンクス（東京都）にて実施し、108名が参加した。

(3) 国際交流事業

海外で行われるシニアの国際大会に選手を派遣すると共に、役員を派遣し、海外プロゴルフ協会（P G A）との情報交換ならびに親善を図った。

本年度は以下の競技に選手ならびに役員、事務局員を派遣した。

- ・ マスターズトーナメント（4月7日～10日・米国）日本選手1名が出場

- ・ 全米プロゴルフシニア選手権（5月26日～29日・米国）日本選手4名が出場
- ・ 全英シニアオープン（7月21日～24日・英国）日本選手8名が出場

#### （4）広報事業

ゴルフ普及のための広報事業として、以下の事業を実施。

##### ① 公式ホームページの開設

公式ホームページに当法人の概要や活動状況、競技情報などを掲載し、広く一般に告知した。

##### ② 公式Facebook

公式Facebookは公式ホームページと連動して当法人の概要や活動状況、競技情報などを掲載し、広く一般に告知した。

##### ③ PGAシニアツアー競技成績の報道機関への配信

共同通信社と提携し、共同通信社から競技成績を配信することにより、PGAシニアツアーの成績が新聞各紙に掲載されるよう図った。

##### ④ ゴルフフェア

一般社団法人日本ゴルフ用品協会が主催し毎年2月に開催されるジャパンゴルフフェアに当法人の特設ブースを出展し、実施事業の紹介、ゴルフレッスン会などを実施。

##### ⑤ 競技記録の管理

シニアツアー及び1999年以前のレギュラーツアーの記録を管理し、一般ならびに報道機関などからの問い合わせ等に対応を行った。

#### （5）出版事業

正しいゴルフ普及のため、当法人が長年の経験と実績に基づいて作成したゴルフ指導書（PGA基本ゴルフ教本、ジュニア基本ゴルフ教本、ジュニア基本ゴルフ教本 みんなでゴルフ、ゴルフはじめてブック）の出版、販売を行った。

#### （6）ゴルフのルール及びマナーに関する研究調査事業

公益財団法人日本ゴルフ協会が主催する「合同ルール研究会」に、当法人の専門競技委員及び競技担当事務局員を派遣し、最新のルール裁定、ルールの変更点に対する解釈などについて学んだ。「合同ルール研究会」で得られた情報は、当法人が開催する研修会ならびにティーチングプロ講習会、入会セミナーなどで実施するルール講習において周知すると共に、その情報をもとに、当法人の競技特別規則（当法人が関係するすべての競技に適用）を作成して会員及び競技に参加するアマチュア選手に配布し、正しいルールの普及に努めた。

#### （7）ゴルフアカデミー事業

ゴルフの正しい普及ならびにゴルフ分野のスポーツ振興のため、PGAゴルフアカデミー事業を実施し、ジュニアゴルファー及び一般ゴルファーへのゴルフ技術ならびに、ルール、マナーなどの指導を実施した。更に会員を対象とする自己研鑽のための競技会や講習会等を実施し、プロゴルファーの資質向上に努めた。

### 【収益事業】

#### 収1 競技関係事業

##### 1. シニアツアー事業

主催競技以外でPGAシニアツアー競技として開催を希望する競技（スポンサー競技）を公

認し主管として管理を行った。また、1年間を通したツアー制度を実施し、公式賞金ランキングを作成。更に、シード資格（優先出場資格）を持たない選手に対して、出場優先順位を与えるためのシニアツアー予選会を実施した。

本年度、シニアツアー競技として実施された試合は以下の通り。

#### 金秀シニア 沖縄オープンゴルフ トーナメント2016

開催日：平成28年4月16日（土）～17日（日）

場 所：喜瀬カントリークラブ（沖縄県）

優勝者：飯合肇

#### ノジマチャンピオンカップ 箱根シニアプロゴルフトーナメント

開催日：平成28年4月22日（金）～23日（土）

場 所：箱根カントリー倶楽部（神奈川県）

優勝者：秋葉真一

#### ～シニアを元気に!!～ KYORAKU MORE SURPRISE CUP 2016

開催日：平成28年5月13（金）～15日（日）

場 所：涼仙ゴルフ倶楽部（三重県）

優勝者：崎山武志

#### 第17回スターツシニアゴルフトーナメント

開催日：平成28年6月10日（金）～12日（日）

場 所：スターツ笠間ゴルフ倶楽部（茨城県）

優勝者：崎山武志

#### 那須霞ヶ城シニアオープンゴルフトーナメント

開催日：平成28年7月2日（土）～3日（日）

場 所：那須霞ヶ城ゴルフクラブ（栃木県）

優勝者：真板潔

#### マルハンカップ 太平洋クラブシニア

開催日：平成28年7月30日（土）～31日（日）

場 所：太平洋クラブ 六甲コース（兵庫県）

優勝者：プラヤド・マークセン

#### ファンケルクラシック

開催日：平成28年8月19日（金）～21日（日）

場 所：裾野カントリー倶楽部（静岡県）

優勝者：室田淳

#### 広島シニアゴルフトーナメント

開催日：平成28年8月25日（木）～26日（金）

場 所：広島カントリー倶楽部 西条コース（広島県）

優勝者：真板潔

アルファクラブCUP シニアオープン

開催日：平成28年9月2日（金）～4日（日）

場 所：矢板カントリークラブ（栃木県）

優勝者：室田淳

コマツオープン2016

開催日：平成28年9月8日（木）～10日（土）

場 所：小松カントリークラブ（石川県）

優勝者：プラヤド・マークセン

第26回日本シニアオープンゴルフ選手権競技

開催日：平成28年9月15日（木）～9月18日（日）

場 所：習志野カントリークラブ キング・クイーンコース（千葉県）

優勝者：プラヤド・マークセン

YUKO GROUP PRESENTS

第2回セヴンヒルズカップ KBCシニアオープン

開催日：平成28年10月14日（金）～15日（土）

場 所：福岡セヴンヒルズゴルフ倶楽部（佐賀県）

優勝者：真板潔

富士フィルムシニアチャンピオンシップ

開催日：平成28年11月3日（木）～5日（土）

場 所：ザ・カントリークラブ・ジャパン（千葉県）

優勝者：田村尚之

第1回福岡シニアオープンゴルフトーナメント

開催日：平成28年11月9日（水）～10日（木）

場 所：福岡カンツリー倶楽部 和白コース（福岡県）

優勝者：水巻善典

ISPS・HANDA CUP・フィランソロピーシニアトーナメント

開催日：平成28年11月18日（金）～20日（日）

場 所：越生ゴルフクラブ（埼玉県）

優勝者：ピーター・ファウラー

いわさき白露シニアゴルフトーナメント

開催日：平成28年11月25日（金）～27日（日）

場 所：いぶすきゴルフクラブ開聞コース（鹿児島県）

優勝者：倉本昌弘

## 2. 各種競技事業

シニア後援競技、シニア特別協力競技、主管競技、後援競技、協力競技などの名義を貸与し、競技委員を派遣して競技の管理を行った。

本年度は以下の競技が実施された。

#### 【シニア後援競技】

- 2016 仰徳台日友好杯（優勝 団体：日本チーム）
- 第5回北関東シニアオープンゴルフ選手権大会（優勝：加瀬秀樹）
- アサヒ緑健カップ 第18回TVQシニアオープンゴルフ（優勝：加瀬秀樹）
- 第4回 トラストパークカップ 佐世保シニアオープンゴルフトーナメント（優勝：室田淳）
- 朝日ゴルフ白浜プロアマトーナメント（優勝：室田淳）

#### 【グランド・ゴールド競技】

- 第7回ユニデングランドシニアチャンピオンシップ（優勝：倉本昌弘）
- ヴィクトリアゴルフグランドマスターズ2016（優勝：牧野裕）

#### 【主管競技】

- ネスレインビテーションショナル日本プロゴルフマッチプレー選手権レクサス杯  
(優勝：時松隆光)

#### 【後援競技】

- 第33回 岐阜オープンクラシック2016（優勝：上田論尉）
- 北陸オープンゴルフトーナメント2016（優勝：片山晋呉）

#### 【特別後援競技】

- ザ・レジェンド・チャリティプロアマトーナメント（優勝：片山晋呉）

### 3. 共同主催競技事業

一般社団法人日本ゴルフツアー機構（JGTO）及び一般社団法人日本女子プロゴルフ協会（LPGA）との共同主催により、Hitachi 3Tours Championship2015 を実施し、JGTOチームが優勝した。

### 収2 その他収益事業

#### 1. 商標関係事業

「PGA」や「PGA TOUR」などの商標を管理し、企業やゴルフ場などに商標を貸与する。

本年度はジャパンPGAゴルフクラブ（千葉県）に対し「ジャパンPGA」の名称を継続して貸与すると共に、ネクサスマーケティング株式会社に対して、ゴルフ用品等の製作、販売のため商標の使用権を貸与した。

また、JCBカードと提携し会員となった方に対して、プロゴルファーとの交流を中心としたサービスを展開するファンクラブを組織し、ゴルフの普及を図った。

#### 【その他事業】

#### 他1 会員事業他

1. 会員のための競技はシニア選考会3会場、プロテスト選考会1会場、グランドシニア選考会1会場を実施した。
2. 会報誌「PGAレポート」は1月、5月、9月の3回発行し、新規入会者へのウェア等の配布、会員証の発行、会員名簿の発行、ルールブックの配布、慶弔費の支給、公認ゴルフスクールの認定など、会員に対するサービスを行った。



### 3. 日本プロゴルフ殿堂に関する事業

プロゴルフ界の発展に貢献したプロゴルファーを表彰することを目的として設立された一般財団法人日本プロゴルフ殿堂の活動支援を行った。

### 4. PGAチャンピオンシップサミット

日本プロゴルフ選手権大会の告知を兼ねて、協賛社、マスコミ、関係者などを招待した懇親会については、2017年に実施することとした。

#### 【コンプライアンス関連】

平成26年4月に内閣府より受けた勧告を踏まえ、当法人としてコンプライアンスの徹底と暴力団排除の取り組みを引き続き実施し、平成28年5月に第4回目の報告書を提出した。

なお、平成26年から28年にかけて提出した4回の報告書に対して、平成28年7月25日に公益認定等委員会の事務局より、「委員会において報告書が承認されたので、当法人は通常の監督状態に戻った」との連絡をいただいた。

これにより、勧告という状況は終了したが、これで全てが終わりではなく、平成25年の不祥事を忘れることなく、「コンプライアンスに終わりはない」との認識のもと、今後も、これまでと同様のコンプライアンス体制を維持し、暴力団排除とコンプライアンスの徹底に勤めていくこととしている。

当法人が平成28年度に実施したコンプライアンスに関する主な施策は以下のとおり。

- ① 全国15地区において、会員が集まる機会を捉え、当協会の参与（警察OB）を派遣してコンプライアンスセミナー開催し、687名の会員が受講した。
- ② 平成28年2月に警察庁暴力団対策課長、日弁連民事介入暴力対策委員会委員長、ゴルフ場 経営者協会及びゴルフ練習場連盟の幹部らの有識者と当法人会長、コンプライアンス委員会メンバーらとの意見交換会を実施し、当法人の取組みを検証していただき、また、今後の課題を検討していただいた。
- ③ 平成26年5月から運用を開始したコンプライアンス相談・通報窓口「PGA119番」については、運用開始から35件の相談・通報があり、通報についてはコンプライアンス委員会です実関係を調査の上対応を行った。

#### 【経営戦略関連】

平成27年2月の社員総会において発表した提言書に基づいて、経営戦略委員会においてゴルフ市場再生活活性化に向けた具体的な施策を検討し、その一つとして平成28年5月よりオールインワンパッケージシステム「PGAゴルフデビュープログラム」のテストマーケティングを東西1ヶ所ずつの練習場で実施している。

また、全国の大学で行われているゴルフの授業を充実させることを目的として、当法人と大学体育連合、ゴルフ市場活性化委員会の3者による連携協定を締結することとし、6月27日に調印式を実施した。当法人では、大学の授業に則したカリキュラムならびに、大学の先生がゴルフの授業を実施する際の指導マニュアル、学生用の教則本を作成することとしている。

上記の事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成しておりません。

以上